

平成17年度産業技術センター利用に関する
アンケート調査結果報告書

平成18年9月

群馬県産業技術センター

目次

| | | |
|-----|-------------------------------------|----|
| I | 概要 | 3 |
| II | 平成17年度産業技術センター利用に関するアンケート調査結果（依頼試験） | 4 |
| III | 平成17年度産業技術センター利用に関するアンケート調査結果（機器開放） | 7 |
| IV | 平成17年度産業技術センター利用に関するアンケート調査結果（技術相談） | 10 |
| V | 平成17年度産業技術センター利用に関するアンケート調査結果（受託研究） | 14 |
| 参考 | 調査票（依頼試験、機器開放、技術相談、受託研究） | 16 |

I 概要

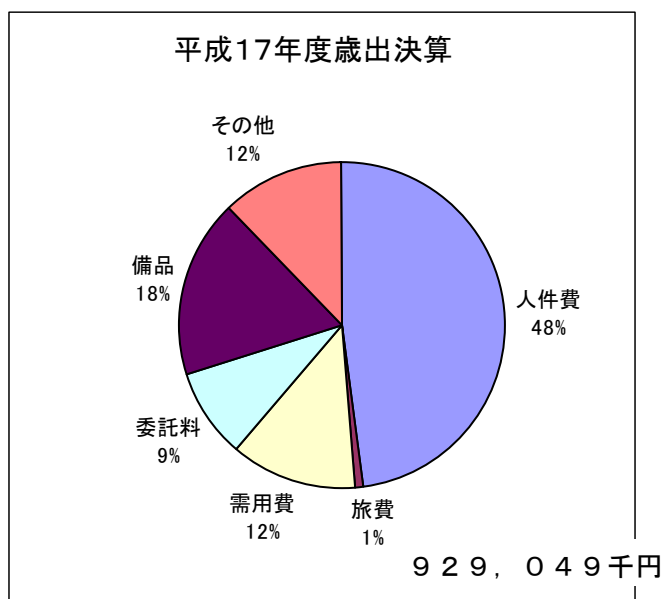
1 目的

産業技術センターの業務実施及び運営の参考とするため、平成17年度の依頼試験、技術相談、機器開放及び受託研究の利用者に対し、アンケートを実施した。

2 経済効果の総表

| 項目 | 経済効果 (万円) |
|------|-----------------|
| 依頼試験 | 1 4 億 3 千 4 百万円 |
| 機器開放 | 9 億円 |
| 技術相談 | 4 3 億 2 千 7 百万円 |
| 受託研究 | 7 千万円 |
| 合 計 | 6 7 億 3 千 1 百万円 |

平成17年度の受託研究を含めた技術支援による**経済効果は、合計67億3千1百万円**である。平成17年度の歳出決算は人件費を含めて次の円グラフに示すように9億2千9百5万円なので、7.2倍の経済効果があったことになる。



II 産業技術センター利用に関するアンケート調査結果（平成17年度依頼試験）

1 目的

産業技術センターの業務実施及び運営の参考とするため、平成17年度の依頼試験利用者に対し、アンケートを実施した。

| 区 分 | 調査票発送数 | 回収数 | 回収率 |
|-----------|--------|-----|-------|
| 平成17年度利用者 | 775 | 188 | 24.3% |

2 調査結果

設問によっては無回答や複数回答もあり、設問毎の解答数の計は必ずしも一致しない。

(1) 設問 I 利用企業の資本金及び従業員数等

- ・ 利用企業の資本金は、3億円未満が7.5割
- ・ 従業員数は、300人未満が7.5割
- ・ 今回の利用回数は、毎年のように利用しているが4割

利用企業の資本金は、5.5割が「1000万円以上～1億円未満」、2.5割が「3億円以上」、1割弱が「1億円以上～3億円未満」、1割強が「1000万円未満」である。

また、利用企業の従業員数は、「300人以上」が2.5割、「30～99人」、「100～299人」が2.5割、「20人未満」が2割、「20人～29人」0.5割である。

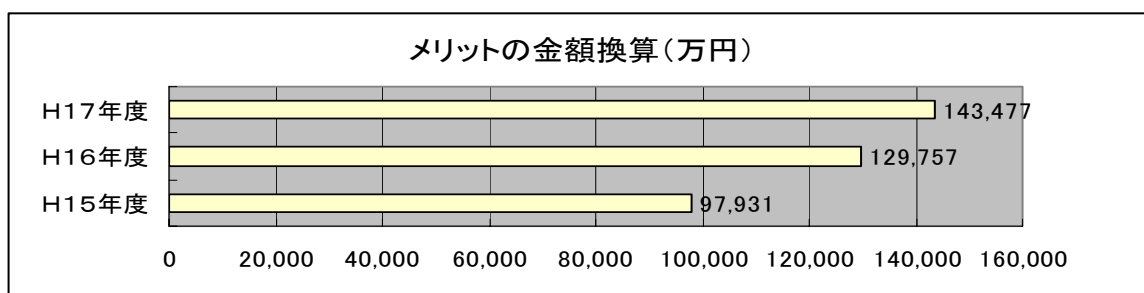
さらに、今回の利用回数は、「毎年のように利用している」が4割、「前に利用した」が3.5割、「今回が初めて」が2.5割である。

(2) 設問 II 目的の達成度（顧客満足度）

- ・ 利用者の約8割が目的を達成
- ・ 依頼試験業務における成果は、14億3千4百万円（試算）

設問 I 顧客満足度に関する質問では、利用者のうち約3割が「十分に達成」、約5割が「ある程度達成」と回答しており、約8割の利用者が目的を達成している。達成できなかった理由としては、分析の結果が役に立たなかった場合が多い。

さらに、利用者に利用したメリットを金額換算してもらったところ、3億5千万円であり、依頼試験業務における産業技術センターの成果を回収率から単純に試算すると約14億3千4百万円である。平成16年度は12億9千7百万円であったので、前年度に比べて10%の伸びである。



(3) 設問Ⅲ 利用料金

・利用料金については、約5.5割が「適当」と回答

設問Ⅲ利用料金に関する質問では、約5.5割が「適当」と回答しており、「安い」及び「非常に安い」を加えると、7割強である。

なお、「高い」及び「非常に高い」で併せて3割弱の回答があった。これらの回答をしたのは手数料が1.5倍となる県外企業、試験時間が長い試験を依頼する企業、または依頼件数が多い企業が多い。

(4) 設問Ⅲ 今後の利用（期待度）

・利用者の9割以上が今後も利用（リピーターが多い）

設問Ⅲ今後の利用に関する質問では、約2.5割が「積極的に利用」、約7割が「必要のあるときに利用」と回答しており、利用者の9割以上が今後も利用すると回答している。

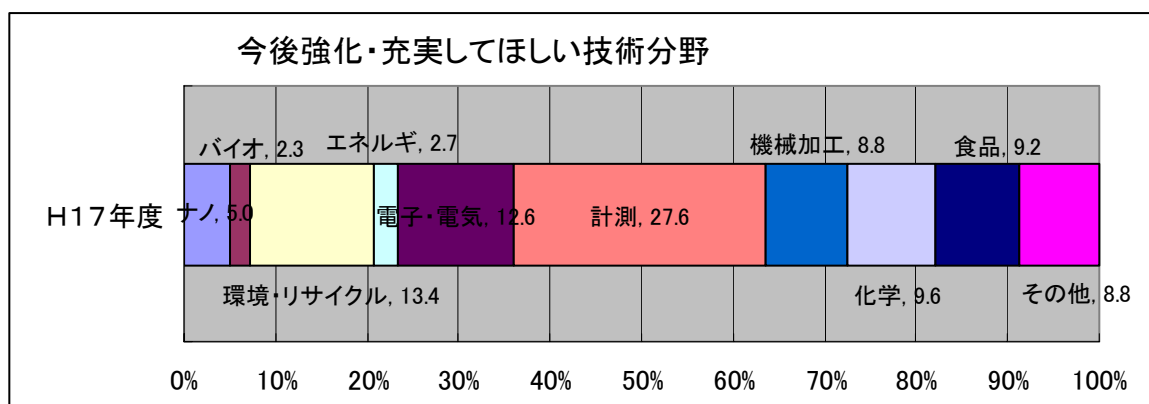
こうしたことから、依頼試験利用者はリピーターが多いことが推察され、今後利用者を増やしていくためには、新たな顧客を開拓していく必要があると思われる。

(5) 設問Ⅳ 強化・充実をしてほしい技術分野

- ・「計測」、「環境・リサイクル」、「電子・電気」の順で要望が多い。
- ・新分野でみると、「環境・リサイクル」、「ナノ」、「エネルギー」の順で要望が多い。

設問Ⅳ今後強化・充実をしてほしい技術分野に関する質問では、約3割が「計測（機械計測・精密測定）」と回答しており、次いで「環境・リサイクル」、「電子・電気」の順で回答が多い。基盤技術と新分野の視点でみると、7対3の割合で基盤技術に対する要望が多い。

新分野でみると、「環境・リサイクル」、「ナノ」、「エネルギー」の順で要望が多い。



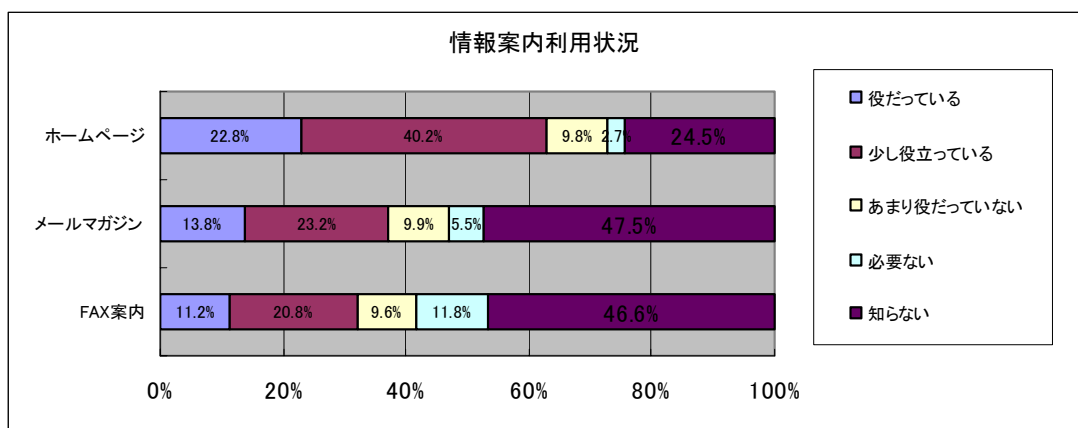
(6) 設問VI 情報案内の利用状況と要望

- ・ ホームページは6割が、メルマガ・FAXサービスでは利用者の3割が「役だっている」または「少し役だっている」と回答している。
- ・ ホームページは3割が、メルマガは5割が、FAXサービスは5割が知らない。

設問VI情報案内に関する質問では、「ホームページ」は約6割が「役だっている」または「少し役だっている」と回答している。「メールマガジン」及び「FAXサービス」では約3割である。また、「ホームページ」を約3割が、「メールマガジン」を約5割が、「FAXサービス」を約5割が「知らない」と回答している。

今回の調査対象者が実際に産業技術センターを利用した者（依頼試験先）であることを考えれば、情報案内媒体そのものに対するPRが必要であると思われる。特に、「メールマガジン」及び「FAXサービス」については、平成16年度と比べて改善しておらず、依頼時に積極的にPRをしていく必要がある。

また、今後希望する技術情報では、「新規導入機器」が約4割でもっとも高く、次いで「技術支援制度」、「技術関係の催物」であり、こうした要望の多い情報を中心に企業へ知らせていく必要がある。



(7) 設問VII 産業技術センターに関する意見・要望

- ・ 手数料に関する改善要望が多い。
- ・ 対応の早さ、対応態度が良いという声も多い。

設問VII産業技術センターに関する意見・要望に関する質問では、手数料に関して高いという意見が多かった（7件）。主な内容は、県外企業では手数料が1.5倍となり高くなること（2社）、単に費用が高いということ（5社）である。支払方法に関しては、簡便にしてほしいという意見があった（4件）。また、対応態度が良いということ（5社）、一方利用しづらいという意見もあった（2件）。

その他、HPでの機器情報の充実、新規機器の導入、機器の更新、情報提供の促進、専門家による技術支援等を求める回答があった。

利用者が利用しやすいよう引き続き検討していく必要がある。

Ⅲ 産業技術センター利用に関するアンケート調査結果（平成17年度機器開放）

1 目的

産業技術センターの業務実施及び運営の参考とするため、平成17年度の機器開放利用者に対し、アンケートを実施した。

| 区 分 | 調査票発送数 | 回収数 | 回収率 |
|-----------|--------|-----|-------|
| 平成17年度利用者 | 346 | 77 | 22.3% |

2 調査結果

設問によっては無回答や複数回答もあり、設問毎の解答数の計は必ずしも一致しない。

(1) 設問Ⅰ 利用企業の資本金及び従業員数等

- ・ 利用企業の資本金は、3億円未満が6.5割
- ・ 従業員数は、300人未満が6.5割
- ・ 今回の利用回数は、毎年のように利用しているが4割

利用企業の資本金は、5割弱が「1000万円以上～1億円未満」、3.5割が「3億円以上」、1.5割が「1億円以上～3億円未満」であり、「1000万円未満」はない。

また、利用企業の従業員数は、「300人以上」が3割強、「100～299人」が3割弱「30～99人」が2割程度、「20～29人」及び「20人未満」がそれぞれ1割程度である。

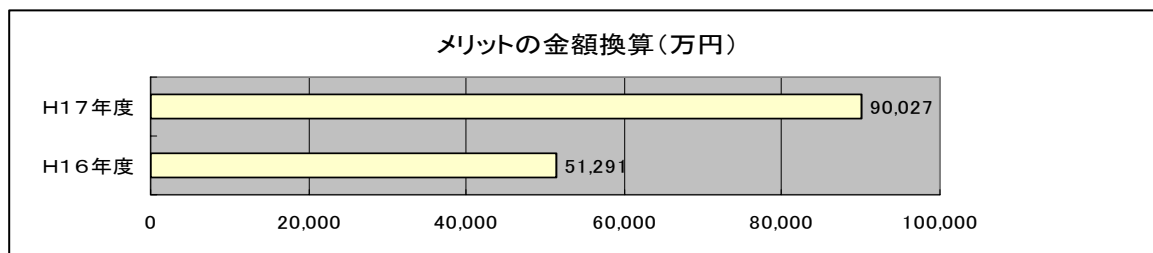
さらに、今回の利用回数は、「毎年のように利用している」が4割、「今回が初めて」が3割強、「前に利用した」が3割弱である。

(2) 設問Ⅱ 目的の達成度（顧客満足度）

- ・ 利用者の**8割が目的を達成**
- ・ 機器開放における成果は、**9億円（試算）**

設問Ⅱの顧客満足度に関する質問では、利用者のうち4割が「十分に達成」、4割が「ある程度達成」と回答しており、8割の利用者が目的を達成している。「達成できなかった」は0.1割であり、その理由として「期限までに問題を解決できなかった」ことが挙げられている。

さらに、利用者に利用したメリットを金額換算してもらったところ、2億円であり、機器開放における産業技術センターの成果を回収率から単純に試算すると約9億円である。



(3) 設問Ⅲ 利用料金

- ・ 利用料金については、約6割が「適当」と回答
- ・ 「適当」、「安い」、「非常に安い」の合計は、8割である。

設問Ⅲ利用料金に関する質問では、約6割が「適当」と回答しており、「安い」及び「非常に安い」を加えると、8割である。

(4) 設問Ⅳ 今後の利用（期待度）

- ・ 利用者の9割以上が今後も利用（リピーターが多い）

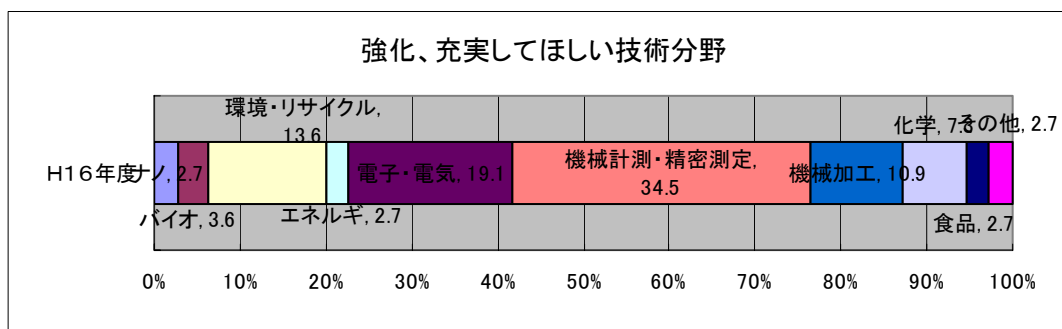
設問Ⅳの今後の利用に関する質問では、3割強が「積極的に利用」、7割弱が「必要のあるときに利用」と回答しており、利用者の9割以上が今後も利用すると回答している。

こうしたことから、機器開放の利用者はリピーターが多いことが推察され、今後利用者を増やしていくためには、新たな顧客を開拓していく必要があると思われる。

(5) 設問Ⅴ 強化・充実をしてほしい技術分野

- ・ 「計測」、「電子・電気」、「環境・リサイクル」の順で要望が多い。
- ・ 新分野でみると、「環境・リサイクル」、「バイオ」、「ナノ」の順で要望が多い。

設問Ⅴの今後強化・充実をしてほしい技術分野に関する質問では、計測（機械計測・精密測定）が3.5割、電気2割弱、環境・リサイクル1割強の順である。新分野の「環境・リサイクル」、「バイオテクノロジー」、「ナノテクノロジー」及び「エネルギー」は合わせて2割強である。



(6) 設問Ⅵ 情報案内の利用状況と要望

- ・ ホームページは6割が、メルマガ・FAXサービスでは利用者の2.5割が「役だっている」または「少し役立っている」と回答している。
- ・ ホームページは2割が、メルマガ・FAXサービスを利用者の6割が知らない。

設問Ⅵ情報案内に関する質問では、「ホームページ」は約6割が「役立っている」または「少し役だっている」と回答している。「メールマガジン」及び「FAXサービス」で

は約2.5割である。また、「ホームページ」を約2割が、「メールマガジン」及び「FAXサービス」を6割が「知らない」と回答している。

今回の調査対象者が実際に産業技術センターを利用した者（機器開放先）であることを考えれば、情報案内媒体そのものに対するPRが必要であると思われる。特に、「メールマガジン」及び「FAXサービス」については、平成16年度と比べて改善しておらず、依頼時に積極的にPRをしてゆく必要がある。

また、今後希望する技術情報では、「新規導入機器」が1割あり、もっとも多い。

(7) 設問Ⅶ 産業技術センターに関する意見・要望

- ・ 職員の対応に関する改善要望が多い
- ・ 料金設定や手続きの改善を求める声も多い

設問Ⅴの産業技術センターに関する意見・要望に関する質問では、職員への要望が2件、感謝に関するものが3件あった。

職員への要望としては、〔アドバイスや助言〕、〔延長に対するフレキシブルな対応〕である。〔職員の対応の良さ〕、〔積極的な改善努力が感じられること〕、〔迅速な対応〕が感謝されている。

その他、〔支払いについて振込の要望〕、〔使用料が県外1.5倍で高いこと〕、〔長期の機器貸し出し〕等があった。

IV 産業技術センター利用に関するアンケート調査結果(平成17年度技術相談)

1 目的

産業技術センターの業務実施及び運営の参考とするため、平成17年度の技術相談利用者に対しアンケートを実施した。なお、調査にあたり他の公共団体（自治体、公設試等）等からの相談は調査対象外とした。

| | | |
|--------|---------|------------|
| 技術相談件数 | 13,690件 | (回収率24.8%) |
| 調査票発送数 | 2,195件 | |
| 回収数 | 544件 | |

2 調査結果

設問ごとに無回答や複数回答もあり、設問毎の回答数の計は回収数と必ずしも一致しない。

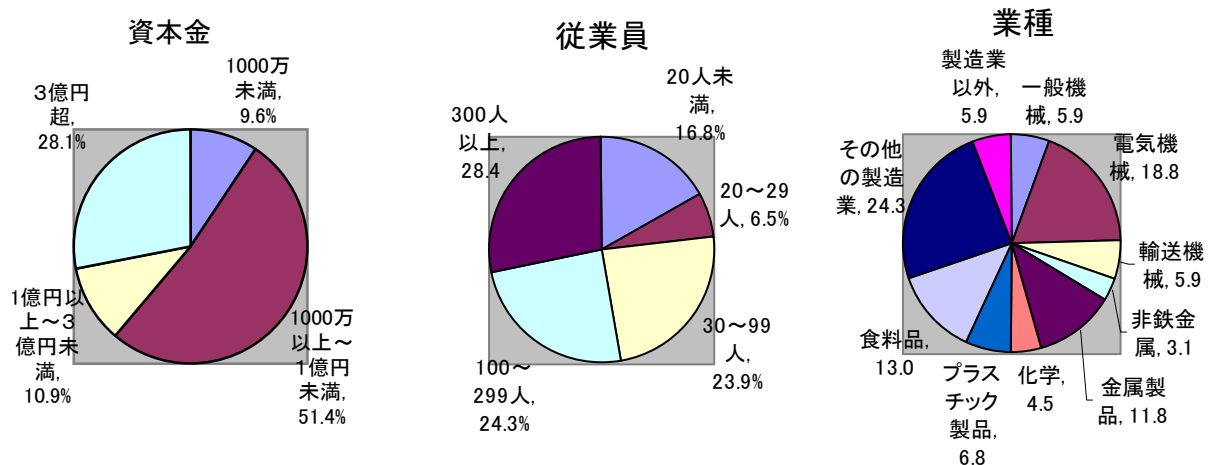
(1) 設問Ⅰ 利用企業の資本金及び従業員数

- ・ 利用企業の資本金は**3億円未満が7割強**である。
- ・ 従業員数は**300未満が7割強**
- ・ 今回の利用回数は、**前に利用したが3.5割**

利用企業の資本金は、5割強が「1000万円以上～1億円未満」、3割弱が「3億円以上」、1割弱が「1億円以上～3億円未満」である。

また、利用企業の従業員数は、「300人以上」が3割弱、「30～99人」及び「20人未満」がそれぞれ2割強である。業種は、製造業が約9割である。

さらに、今回の利用回数は、「毎年のように利用している」が3割弱、「今回が初めて」が3.5割、「前に利用した」が3.5割である。

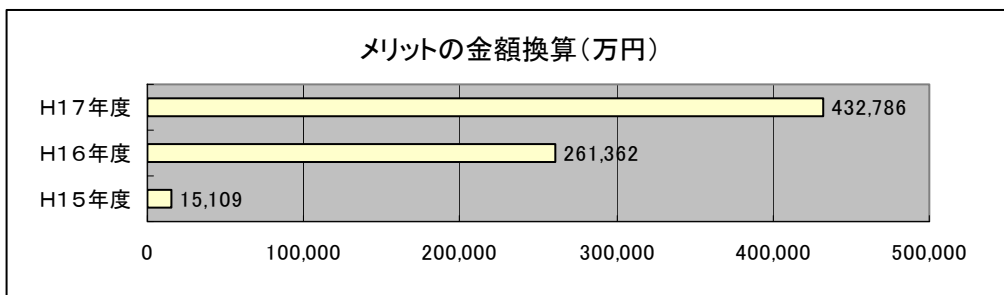
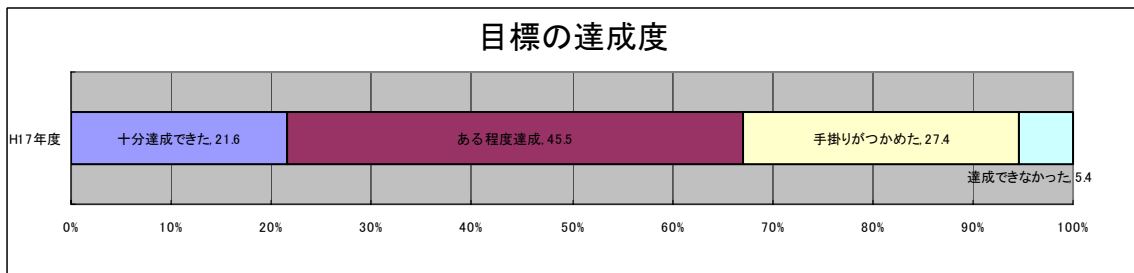


(2) 設問Ⅱ 目標の達成度（顧客満足度）

- ・ 利用者の**7割弱が目標を達成**
- ・ 技術相談におけるメリットの金額換算値は**43億2千7百万円**

利用者の2割強が「十分に達成」、4.5割が「ある程度達成」と回答しており、約7割が目標を達成している。その他「手がかりがつかめた」3割弱、「達成できなかった」1割弱となっている。達成できない理由としては、「調査してもらったが製造・コストの面であわなかった。」「希望する試験を行う設備がなかった。」「手がかりはつかめたが商品化まで至らなかった。」等である。依頼試験、機器開放に比べて技術相談の目標達成率が低いのは、様々な事項についての相談があるためと考えられる。

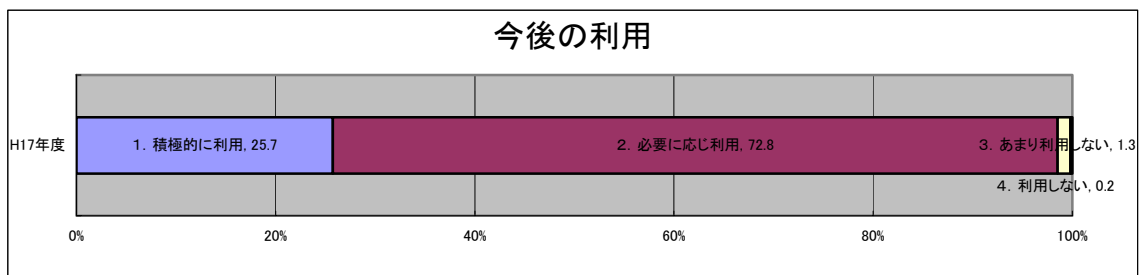
さらに利用者に技術相談で得たメリットを金額換算してもらったところ、10億7千2百万円となり、回収率から単純に試算すると約43億2千7百万円となる。



(3) 設問Ⅲ 今後の利用 (期待度)

- ・ 利用者の**9割以上が今後も使用する意向**

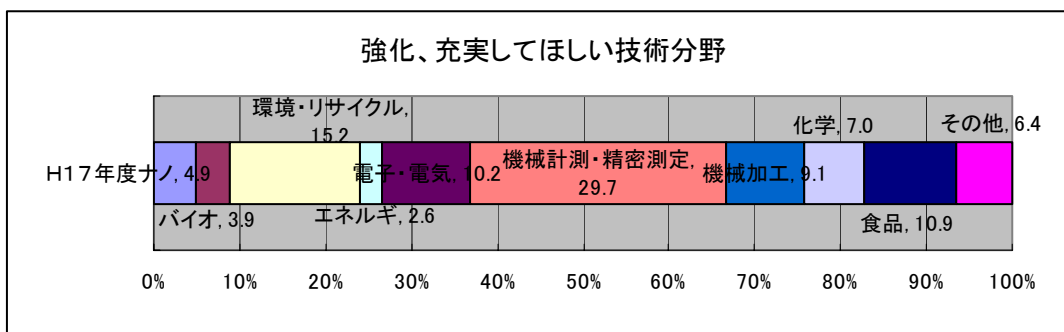
利用者の2.5割が「(今後もセンターを)積極的に利用」、7割強が「必要に応じ利用」と回答しており、9割以上が今後も利用する意向を示している。



(4) 設問Ⅳ 強化、充実してほしい技術分野

- ・ 「計測」、「環境・リサイクル」、「食品」の順が多い。

強化・充実してほしい技術分野は、「計測（機械計測・精密測定）」3割弱、「環境・リサイクル」1.5割、「食品」・「電子・電気」ともに1割の順が多い。

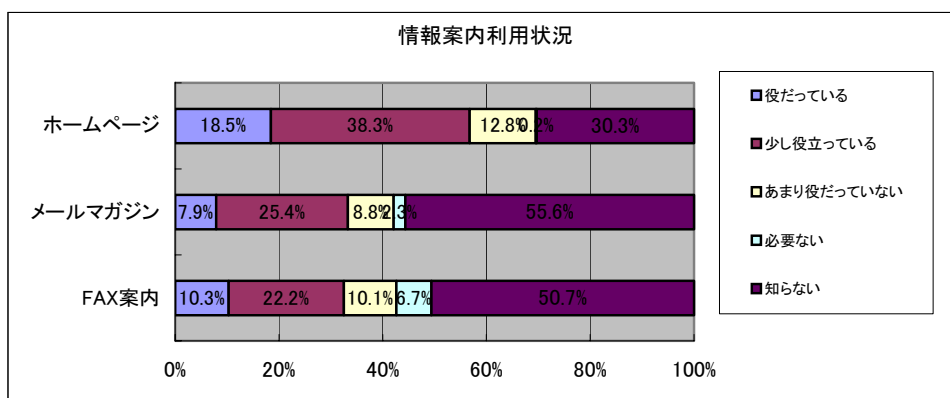


(5) 設問V 情報案内利用状況

- ・ ホームページは約5割の企業が利用
- ・ メールマガジン、FAX案内は約3割の企業が利用

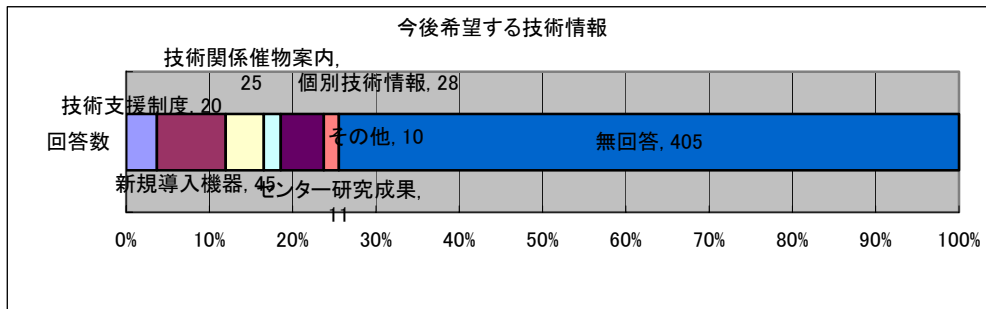
「ホームページ」では約6割（「役だっている」2割、「少し役立っている」4割）、「メールマガジン」は約3割（「役だっている」1割弱、「少し役立っている」3割弱）、「FAX案内」は約3割（「役だっている」1割、「少し役立っている」2割）が役だっていると回答している。

「知らない」との回答がそれぞれ「ホームページ」3割、「メールマガジン」6割弱、「FAX案内」5割を占めている。



(6) 今後希望する技術情報

今後希望する技術情報では、無回答を除くと、新規導入機器に関する情報45件、個別技術に関する情報28件、講習会・セミナー等の催物の案内25件、技術支援制度に関する情報20件、センター研究成果に関する情報11件の順が多い。個別技術情報では具体的な技術を挙げての回答が多かった。「その他」では、〔設備の具体的な活用方法〕、〔知的財産権関連のアドバイス〕、等の記入があった。



(7) 設問Ⅵ 意見、要望

・機器購入・更新に関するもの、対応等に感謝するものが多かった。

無回答を除くと、対応等に感謝するもの 14 件、手数料に関するもの 13 件、職員へ要望するもの 10 件、手続きに関するもの 7 件、試験結果に関するもの 6 件、の順が多かった。

職員が良心的な対応、丁寧な対応であったこと等を挙げた回答が 14 件あったことは、センターのCSの取り組みが浸透してきたものと考えられる。職員への要望では、的確な技術支援を求めるもの、相談に関する窓口の強化、等である。

その他、測定器の操作や立会の希望、ホームページの刷新、新規情報のメール発信、等の要望があった。

V 産業技術センター利用に関するアンケート調査結果（H17年度受託研究）

1 目的

産業技術センターの業務実施及び運営の参考とするため、平成17年度の受託研究利用者に対し、アンケートを実施した。

| 区 分 | 対象企業数 | アンケート回収数 | 回収率 |
|-----------|-------|----------|-------|
| 平成17年度利用者 | 39 | 21 | 53.8% |

2 調査結果

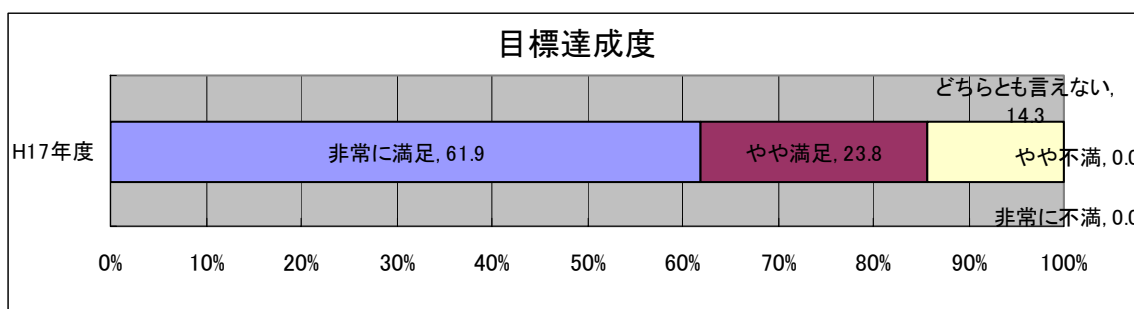
設問によっては無回答や複数回答もあり、設問毎の回答数の計は必ずしも一致しない。

(1) 目的の達成度（顧客満足度）（設問Ⅱ）

利用者の満足度は、9割弱である。

「非常に満足」が6割強、「やや満足」が2割強であり、これらの合計を「満足している」とすると、利用者の満足度は9割弱である。センターの成果が企業の期待と一致しているものと考えられる。

なお、「やや不満」や「非常に不満」という回答はなかった。



(2) 経済効果（設問Ⅳ）

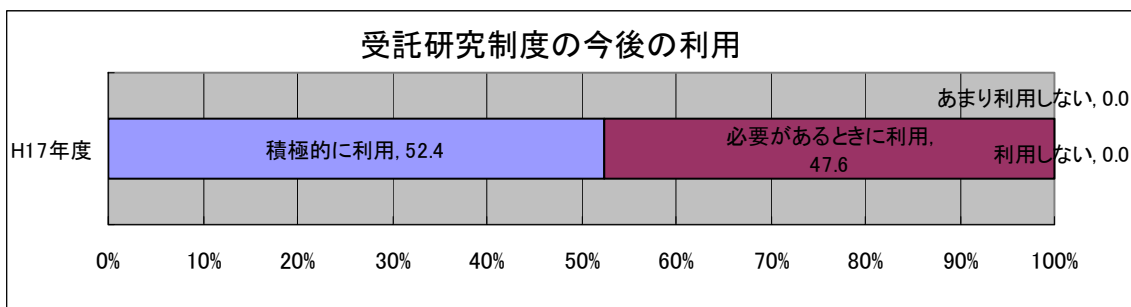
受託研究による総経済効果 7,066万円（受託研究費用の5.7倍）

費用対効果面について、利用者に受託研究で得たメリットを金額換算してもらったところ、3,805万円となり、回収率から単純に試算すると約7,066万円となる。

(3) 今後の受託研究制度の利用（設問Ⅴ，Ⅵ）

利用者のほとんどが今後も受託研究制度の利用を考えている。

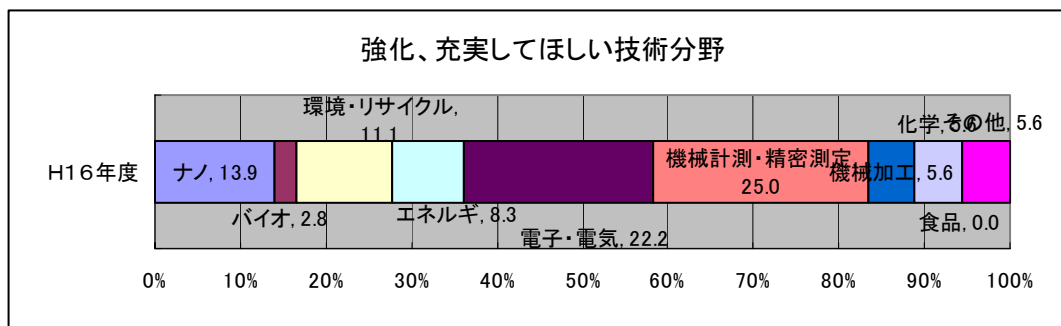
今後の利用については、受託研究の利用者の5割強が「積極的に利用したい」と、また、5割弱が「必要のあるときに利用したい」と回答している。受託研究制度の利用者は固定客になり得ると考えられる。



(4) 強化・充実をしてほしい技術分野（設問Ⅶ）

・強化・充実してほしい分野は、計測、電子・電気が多い。

強化・充実してほしい分野は、計測（機械計測・精密測定）2.5割、電子・電気2割強が多い。その次に、ナノが1割強、環境・リサイクルが1割で続いている。



(5) 情報案内の利用状況（設問Ⅷ）

設問Ⅷの情報案内に関する質問では、「ホームページ」は7割弱が「役立っている」または「少し役だっている」と回答している。「メールマガジン」では5割弱、「FAXサービス」では3割弱である。また、「ホームページ」を2割強が、「メールマガジン」を5割弱が、「FAXサービス」を5割強が「知らない」と回答している。

(6) 産業技術センターに関するその他の意見・要望（設問Ⅶ）

次の意見・要望があった。

- ・ 複合技術（電子、デバイス、ファームウェア、ソフトウェア、物理化学）について相談できるので助かっている。
- ・ 費用の支払方法が多様になればいい。

群馬県立産業技術センター利用に関するアンケート (調査票)

センターの技術支援は次の3つに大別できます。

- ① 依頼試験：企業から依頼を受けて行う試験・分析等 (有料)
- ② 機器開放：企業によるセンターの機器の使用 (有料)
- ③ 技術相談：企業からの技術的な相談や問い合わせ (無料)

それぞれについて別個にアンケート調査票が送付されますので、よろしくお願いします。

<【平成17年度の依頼試験業務について御回答ください】>

【I】無記名アンケートですが、集計の都合上、資本金・従業員等についてお答えをお願いします。

(1) 資本金

1. 1000万円未満 2. 1000万円～1億円未満 3. 1億円～3億円未満 4. 3億円以上

(2) 従業員数

1. 20人未満 2. 20～29人 3. 30～99人 4. 100～299人 5. 300人以上

(3) 今回 (平成17年度「H17.4.1～H18.3.31」) 利用したのが、初めてですか。

1. 今回が初めて 2. 毎年のように利用している 3. 前に利用したことがある

【II】産業技術センターを利用して、目的の達成度はどうですか。

1. 十分達成できた 2. ある程度達成できた 3. 手がかりがつかめた 4. 達成できなかった

上記で「1～3」とお答えの方に、利用したメリットを **あえて金額** に換算すると次のいずれに相当しますか？

(商品が売れたような場合の直接的な経済的効果のほか、他所で試験した場合や機器の購入した場合等を勘案して換算をお願いします。)

1. 0～10万円以下 2. 10万円～50万円程度 3. 50万円～100万円
4. 100万円～300万円程度 5. 300万円～500万円程度 6. 500万円～1000万円程度
7. 1000万円～3000万円程度 8. 3000万円程度～5000万円程度 9. 5000万円～1億円程度
10. 1億円以上 (おおよその金額を御記入ください：_____億円くらい)

上記で「4. 達成できなかった」とお答えの方に、その理由をおたずねします。

(例：期限までに結果が得られなかったなど)

【III】利用料金はいかがでしたか。

1. 非常に高い 2. 高い 3. 適当 4. 安い 5. 非常に安い

【IV】今後も産業技術センターを利用したいとお考えですか。

1. 積極的に利用 2. 必要のあるときに利用 3. あまり利用しない 4. 利用しない

上記で「3～4」とお答えの方に、その理由をおたずねします (複数回答可)

1. 対応が悪い 2. 時間がかかる 3. 目的とする機器がない
4. 専門職員がいない (レベルが低い) 5. その他 (_____)

【V】今後、どのような技術分野の強化、充実をしてほしいとお考えですか。

1. ナノテクノロジー 2. バイオテクノロジー 3. 環境・リサイクル 4. エネルギー
5. 電子・電気 6. 機械計測・精密測定 7. 機械加工 8. 化学
9. 食品 10. その他 (_____)

【VI】情報案内等のご利用について

産業技術センターでは、ホームページ・メールマガジン及びFAX案内サービスにより、情報提供 (講習会・研修案内など) を行っております。これらのご利用状況についてお尋ねします

【ホームページ】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【メールマガジン (まる得通信)】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【FAX案内サービス】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【今後希望する技術情報について教えてください。】(例：技術支援制度、新規導入機器、技術関係の催物、研究テーマ・成果など)

【VII その他、産業技術センターに関する御意見・御要望等ございましたら、御記入ください】

御協力ありがとうございました。

群馬県立産業技術センター利用に関するアンケート (調査票)

センターの技術支援は次の3つに大別できます。

- ④ 依頼試験：企業から依頼を受けて行う試験・分析等 (有料)
- ⑤ 機器開放：企業によるセンターの機器の使用 (有料)
- ⑥ 技術相談：企業からの技術的な相談や問い合わせ (無料)

それぞれについて別個にアンケート調査票が送付されますので、よろしくお願いします。

<【平成17年度の機器開放】業務について>

【I 無記名アンケートですが、集計の都合上、資本金・従業員等についてお答えをお願いします。】

- (1) 資本金 1. 1000万円未満 2. 1000万円～1億円未満 3. 1億円～3億円未満 4. 3億円以上
- (2) 従業員数 1. 20人未満 2. 20～29人 3. 30～99人 4. 100～299人 5. 300人以上
- (3) 業種 1. 一般機械 2. 電気機械 3. 輸送機械 4. 非鉄金属 5. 金属製品 6. 化学
7. プラスチック製品 8. 食料品 9. その他の製造業 10. 製造業外
- (3) 今回 (平成17年度「H17.4.1～H18.3.31」) 利用したのが、初めてですか。
1. 今回が初めて 2. 毎年のように利用している 3. 前に利用したことがある

【II 産業技術センターを利用して、目的の達成度はどうですか】

- 1. 十分達成できた 2. ある程度達成できた 3. 手がかりがつかめた 4. 達成できなかった

上記で「1～3」とお答えの方に、利用したメリットを **あえて金額** に換算すると次のいずれに相当しますか？

(商品が売れたような場合の直接的な経済的効果のほか、他所で試験した場合や機器の購入した場合等を勘案して換算をお願いします。)

- 1. 0～10万円以下 2. 10万円～50万円程度 3. 50万円～100万円
- 4. 100万円～300万円程度 5. 300万円～500万円程度 6. 500万円～1000万円程度
- 7. 1000万円～3000万円程度 8. 3000万円程度～5000万円程度 9. 5000万円～1億円程度
- 10. 1億円以上 (おおよその金額を御記入ください：_____億円くらい)

上記で「4. 達成できなかった」とお答えの方に、その理由をおたずねします。

(例：期限までに結果が得られなかったなど)

【III 利用料金はいかがでしたか】

- 1. 非常に高い 2. 高い 3. 適当 4. 安い 5. 非常に安い

【IV 今後も産業技術センターを利用したいとお考えですか】

- 1. 積極的に利用 2. 必要のあるときに利用 3. あまり利用しない 4. 利用しない

上記で「3～4」とお答えの方に、その理由をおたずねします (複数回答可)

- 1. 対応が悪い 2. 時間がかかる 3. 目的とする機器がない
- 4. 専門職員がいない (レベルが低い) 5. その他 (_____)

【V 今後、どのような技術分野の強化、充実をしてほしいとお考えですか】

- 1. ナノテクノロジー 2. バイオテクノロジー 3. 環境・リサイクル 4. エネルギー
- 5. 電子・電気 6. 機械計測・精密測定 7. 機械加工 8. 化学
- 9. 食品 10. その他 (_____)

【VI 情報案内等のご利用について】

産業技術センターでは、ホームページ・メールマガジン及びFAX案内サービスにより、情報提供 (講習会・研修案内など) を行っております。これらのご利用状況についてお尋ねします

【ホームページ】

- 1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【メールマガジン (まる得通信)】

- 1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【FAX案内サービス】

- 1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【今後希望する技術情報について教えてください。】(例：技術支援制度、新規導入機器、技術関係の備物、研究テーマ・成果など)

【VII その他、産業技術センターに関する御意見・御要望等ございましたら、御記入ください】

群馬県立産業技術センター利用に関するアンケート (調査票)

センターの技術支援は次の3つに大別できます。

- ⑦ 依頼試験：企業から依頼を受けて行う試験・分析等 (有料)
- ⑧ 機器開放：企業によるセンターの機器の使用 (有料)
- ⑨ 技術相談：企業からの技術的な相談や問い合わせ (無料)

それぞれについて別個にアンケート調査票が送付されますので、よろしくお願ひします。

<【平成17年度の技術相談 (無料)】業務について>

【I 無記名アンケートですが、集計の都合上、資本金・従業員等についてお答えをお願いします。】

- (1) 資本金 1. 1000万円未満 2. 1000万円～1億円未満 3. 1億円～3億円未満 4. 3億円以上
- (2) 従業員数 1. 20人未満 2. 20～29人 3. 30～99人 4. 100～299人 5. 300人以上
- (3) 業種 1. 一般機械 2. 電気機械 3. 輸送機械 4. 非鉄金属 5. 金属製品 6. 化学
7. プラスチック製品 8. 食料品 9. その他の製造業 10. 製造業外
- (4) 今回 (平成17年度「H17.4.1～H18.3.31」) 利用したのが、初めてですか。
1. 今回が初めて 2. 毎年のように利用している 3. 前に利用したことがある

【II 産業技術センターを利用して、目的の達成度はどうですか】

1. 十分達成できた 2. ある程度達成できた 3. 手がかりがつかめた 4. 達成できなかった

上記で「1～3」とお答えの方に、利用したメリットを あえて金額 に換算すると次のいずれに相当しますか?
(商品が売れたような場合の直接的な経済的効果のほか、他所で試験した場合や機器の購入した場合等を勘案して換算をお願いします。)

1. 0～10万円以下 2. 10万円～50万円程度 3. 50万円～100万円
4. 100万円～300万円程度 5. 300万円～500万円程度 6. 500万円～1000万円程度
7. 1000万円～3000万円程度 8. 3000万円程度～5000万円程度 9. 5000万円～1億円程度
10. 1億円以上 (おおよその金額を御記入ください： _____ 億円くらい)

上記で「4. 達成できなかった」とお答えの方に、その理由をおたずねします。

(例：期限までに結果が得られなかったなど)

【III 今後も産業技術センターを利用したいとお考えですか】

1. 積極的に利用 2. 必要のあるときに利用 3. あまり利用しない 4. 利用しない

上記で「3～4」とお答えの方に、その理由をおたずねします (複数回答可)

1. 対応が悪い 2. 時間がかかる 3. 目的とする機器がない
4. 専門職員がいない (レベルが低い) 5. その他 (_____)

【IV 今後、どのような技術分野の強化、充実をしてほしいとお考えですか】

1. ナノテクノロジー 2. バイオテクノロジー 3. 環境・リサイクル 4. エネルギー
5. 電子・電気 6. 機械計測・精密測定 7. 機械加工 8. 化学
9. 食品 10. その他 (_____)

【V 情報案内等のご利用について】

産業技術センターでは、ホームページ・メールマガジン及びFAX案内サービスにより、情報提供 (講習会・研修案内など) を行っております。これらのご利用状況についてお尋ねします

【ホームページ】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【メールマガジン (まる得通信)】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【FAX案内サービス】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【今後希望する技術情報について教えてください。】 (例：技術支援制度、新規導入機器、技術関係の催物、研究テーマ・成果など)

【VI その他、産業技術センターに関する御意見・御要望等ございましたら、御記入ください】

御協力ありがとうございました。

* なお、有料の「依頼試験」「機器開放」等を御利用いただいた際、それに付随して職員が技術的な質問等にお答えした場合には 今回の調査をお願いする場合がありますが、調査の趣旨をご理解いただき両方にご協力をお願いします。

群馬・東毛産業技術センター御利用に関するアンケート

このアンケートは、平成17年度に_____のテーマで産業技術センターで受託した受託研究・共同研究の御依頼先に実施しております。尚、今回ご記入いただきましたアンケート内容は個票として部外及び部内においても公開されることはありません。（9月1日（金）までにご回答をお願い申し上げます。）

1 無記名アンケートですが、集計の都合上、資本金・従業員についてお答えをお願いします。

(1) 資本金

1. 1000万円未満 2. 1000万円～1億円未満 3. 1億円～3億円未満 4. 3億円以上

(2) 従業員数

1. 20人未満 2. 20～29人 3. 30～99人 4. 100～299人 5. 300人以上

2 産業技術センターをご利用頂きました結果、目的達成のお役にたてましたか？

1. 非常に満足 2. やや満足 3. どちらとも言えない 4. やや不満 5. 非常に不満

3 上記で4～5とお答えの方に、その理由をお尋ねします

[]

4 前設問で1～3とお答えの方に、利用したメリットを敢えて金額に換算すると次のいずれに相当しますか？（金額に換算するのは容易でないと思いますが、例えばこの位売上高が増加した、生産性が向上した、コストの削減につながった、人件費・設備費が節約できたなど、当センターを活用しなかった場合と比較して推定してください。

1. 10万円以下 2. 10万円～50万円程度 3. 50万円～100万円程度
4. 100万円～300万円程度 5. 300万円～500万円程度 6. 500万円～1000万円程度
7. 1000万円～3000円程度 8. 3000万円～5000万円程度 9. 5000万円～1億円程度
10. 1億円以上（おおよその金額を御記入ください：_____億円くらい）

5 今後も産業技術センターと受託研究・開発研究等を行いたいとお考えですか？

1. 積極的にしたい 2. 必要のあるときに 3. どちらとも言えない 4. あまりしたくない
5. したくない

6 前設問で3～5とお答えの方に、その理由をお尋ねします（複数回答可）

1. 対応が悪い 2. 時間がかかる 3. 目的とする機器がない
4. 専門職員がいない（レベルが低い） 5. その他（_____）

7 どのような技術分野の強化、充実をご希望ですか？

1. ナノテクノロジー 2. バイオテクノロジー 3. 環境・リサイクル 4. エネルギー
5. 電子・電気 6. 機械計測・精密測定 7. 機械加工 8. 化学
9. 食品 10. その他（_____）

8 情報案内等のご利用について

産業技術センターでは、ホームページ・メールマガジン及びFAX案内サービスにより、情報提供（講習会・研修案内など）を行っております。これらのご利用状況についてお尋ねします

【ホームページ】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【メールマガジン（まる得通信）】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

【FAX案内サービス】

1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. あまり役立っていない 4. 必要ない 5. 知らない

9 ご希望の技術情報分野・テーマ、又は産業技術センターに関するご意見・ご要望等ございましたら、ご記入ください

[

ご協力ありがとうございました。